

第1 決算審査特別委員会（第3日目）

H28.9.9（金）10：00～

第 二 委 員 会 室

開 会 9：57

委 員 長 皆さん、おはようございます。

委員動静報告

委 員 長 ただいまの出席委員数は9名であります。
これより本日の会議を開きます。

教育費

委 員 長 教育費の説明を求めます。
田中部長 （教育費について説明する。）

委 員 長 説明が終わりました。
これより質疑に入ります。質疑ありますか。

舘 内 190、191ページの10款1項3目の備考欄、教職員住宅の維持管理に要した経費、
維持管理の内訳はどうなっていますか、また今現在入居は何戸ありますか。
佐藤主査 教職員住宅の維持管理に要する経費についてお答えいたします。内訳といたしましては、まず施設修繕料が84万1,860円です。続きまして、手数料、口座振替の手数料等になりますが、これが2万1,756円です。次に、委託料、住宅の草刈り業務等の委託料になりますが、6万9,260円でございます。
続きまして、入居件数につきましては、平成27年度末の入居者ということで、管理戸数が24戸、そのうち3件入居してございます。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。
三 上 199ページの開西中学の非構造部材の関係なのですが、開西中学校は平成25年にたしか改築されていますよね。それで、それ以前から非構造部材については一般質問でも何度かされていると思うのですけれども、なぜ当初から非構造部材を持たなかったのか。予算の関係で説明があったかと思うのですけれども、教えていただきたいと思います。

秋山係長 それと、211ページ、たきかわホールの運営管理ですが、今、動向が注目されておりますけれども、稼働率と利用者数を教えてください。

開西中学校の非構造部材の関係を答弁させていただきます。流れについては、資料が手元にないので、私の頭に入っているところを説明させていただきます。まず、平成23年3月に大地震があり、天井の非構造部材の考え方としては、平成17年以降から軽量化ということで方向性はあったのですが、その辺の決まりは、開西中学校の設計が入っていたときにはございませんでした。体育館と武道場の部分が地震のあった年に同時に建て終わって、そこから3年後に最後の棟が完成しましたので、ほとんど同時でつり天井の状況の形ではありました。その後、切りかえることとなったときの非構造の補助金のメニューがございましたので、そちらを活用して天井を撤去して、安全性を守るように対応したという流れがございました。時系列については、手元にないので、概略の流れとして回答させていただきます。

土橋係長 たきかわホールの利用状況についてご説明させていただきます。
利用件数なのですけれども、多目的ホール、ギャラリー、リハーサル室を合わせて458件となりまして、前年度432件より26件ほどふえている状況にございます。中でもリハーサル室の利用につきましては前年度よりも21件ほどふえてお

りまして、団体やサークルなどの会議で使われたり、打ち合わせで使われたり、またバンドやカラオケの練習などでも多く利用されているというのが現状でございます。

また、利用人数につきましては1万3,538人で、前年度1万3,340人より198人ほどふえている現状でございます。

三 上

非構造部材の関係ですが、計画段階といたって、平成25年に改築になったのですから、その2年前、3年前なのでしょうけれども、先を見込んだ計画にしていけないと無駄金が出ていくのです。これは要望としたいと思います。

それと、もう一点ですが、たきかわホールのホール自体の利用数というのはどのようなになっていますか。

土橋係長

たきかわホール、多目的ホールの利用状況なのですが、主に演劇公演、人形劇公演、講演会、カラオケ大会等で利用されており、昨年と比較いたしまして、利用件数は4件ほどふえておりまして、利用人数につきましても357人ほど増加しているというのが現状でございます。多目的ホールの利用件数の総計につきましては、68件となっております。

委員長

ほかに質疑ありませんか。

井 上

215ページのパークゴルフ場の関係で、先ほどの説明では補助金が縮小されたので事業も縮小したということだけでも、パークゴルフ場を心配しているのです。今回、どういう考え方でどの程度工事計画が縮小されたのか説明してください。

近藤課長補佐

当初、パークゴルフ場の整備につきましては、国の補助金をいただく形で7,400万円ほどの要望をさせていただきました。しかし、4月の段階で内示を受けたのは、約半分の予算しかつきませんでした。幸いにして社会資本整備総合交付金の利点がございまして、今回、パークゴルフ場は土木費の公園改築事業とあわせて要望させていただいた段階もありましたので、その中で予算のやりとりをしまして、優先すべきパークゴルフ場に予算をつけさせていただきました。ただ、限りある財源の中で備品等の購入も検討していたのですが、これはオープン前にしても問題ないという判断をしまして、まずコース整備を重点的に予算配分させていただきました。54ホールを完成させていただいたところでございます。

井 上

その部分はわかりました。コースの残った部分はいつやるのですか。

近藤課長補佐

コースにつきましては、平成26年度に18ホール、27年度に54ホールで、コースについては全て完了しております。決算と違うのですが、ことし、参考までに駐車場の整備を終わらせまして、備品等を購入しパークゴルフ場の完成となりますので、ご理解いただきたいと思います。

委員長

ほかに質疑ありますか。

副委員長

小中学校の児童生徒の動向ということで伺います。事務概要185、186ページですが、教育相談の件数だとか、いじめの相談だとか、例えば長期欠席だとかということでもいいのですが、特に平成27年度がふえたとか、減ったとか、変わらないとかということで、特筆すべき状況があればお願いします。

堤 主 査

相談の中身につきまして、傾向として変化があらわれてきたのは、それぞれのお子さんの発達課題にかかわる相談がふえてきたかなというところでございます。なかなか話を聞けないですとか、集団にうまく適応できないですとか、そういった相談の中身が、これまでと多少変わってきているところと考えており

ます。件数やその他内容につきましては、これまでとさほど大きな変化はないと考えております。

副委員長
堤 主 査 いじめの関係や長期欠席も伺ったのですが。
いじめにつきましては、これまでとさほど変わるような中身はございません。様態につきましても、悪口を言われる、たたく、蹴るといったような内容が中心となっております。また、不登校につきましても、心因的な要因ということで、朝になると気持ちが向かず学校に行けなくなる、また家庭の環境など、複合した要因ということで、不登校も変わった点はございません。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長 ほかに質疑がないようですので、質疑の留保はなしと確認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委 員 長 そのように決定いたします。
以上で教育費の質疑を終結いたします。
ここでお諮りいたします。午前の日程が全て終了しましたので、午後の日程を繰り上げたいと思いますが、よろしいですか。

(異議なしの声あり)

委 員 長 それでは、異議がないようですので、午後の日程を繰り上げいたします。
所管の入れかえのため、ここで休憩いたします。10時35分再開いたします。

休 憩 10:23
再 開 10:34

委 員 長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

歳入

委 員 長 歳入の説明を求めます。
中島部長 (歳入について説明する。)

委 員 長 説明が終わりました。
これより質疑に入ります。質疑ありますか。

館 内 まず、82、83ページの21款5項1目の備考欄のフッ素塗布収入のことについて内訳を教えてください。

澤田主査 続いて、86、87ページの市債についてですけれども、平成27年は18億7,903万5,000円の収入済額になっていますが、一方、償還額を差し引いた未償還額についてはどうなっているのでしょうか。また、決算審査意見書26ページの上段に一般会計の平成27年度の未償還額は181億12万8,254円となっています。臨時財政対策債を除く未償還の現在高はどうなっているか、また交付税措置を除く未償還の現在高はどうなっているかお尋ねします。

田上課長補佐 フッ素塗布収入の内訳につきましてご説明いたします。フッ素塗布収入1,903人掛ける510円で97万530円、サホライド塗布収入として130本掛ける100円で1万3,000円となっております。

万年係長 臨時財政対策債を除く未償還現在高についてお答えをいたします。決算書433ページに市債の現在高と償還額を記載させていただいております。この中で、一般会計の未償還額181億12万8,254円、うち臨時財政対策債が70億6,716万9,927円、差し引きまして110億3,295万8,327円となっております。

交付税措置額を除く未償還額ということですので、まず普通交付税では実償還額のみではなくて理論償還値、計算上の償還値に基づいて元利償還金、元

金だけではなくて元利償還金に対して交付税措置されるものであります。一方、未償還額というのは元金のみのお話ですので、計算するのは困難なことでございます。ただ、ちなみに平成27年度の元利償還金に対して交付税措置は約半分、臨財債も全部含めて約半分、臨財債を除くと38パーセント程度が交付税措置されているということになります。

館 内

フッ素塗布のことでまた質疑させていただきます。乳幼児は乳幼児で決まっているのですけれども、障がい者の塗布に関して、毎年利用される障がい者の方はいらっしゃるかどうか確認いたします。

澤田主査

フッ素塗布の乳幼児と障がい者につきましては特別分けてはいないのですけれども、障がい者につきましては、保健センターで通常行われている歯科健診の日程とは別日程で障がい者歯科健診というのを年2回実施しておりまして、その中で毎年希望されてフッ素塗布を受けている方は数名おります。

委 員 長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

ほかに質疑がないようですので、質疑の留保はなしと確認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

そのように決定いたします。

以上で歳入の質疑を終結いたします。

本日まで3日間質疑を行ってきましたが、市長に対する総括質疑はなしと確認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

なしと確認しましたので、以上で全ての質疑を終結いたします。

これより休憩に入りますが、休憩中に書類審査を行っていただきます。再開の時間でございますが、11時15分といたします。

なお、4月から6月の3カ月分の書類を用意しておりますけれども、そのほかに他の月を見たい方につきましてはお申し出ください。

暫時休憩いたします。

休 憩 10 : 54

再 開 11 : 13

委 員 長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

書類審査

委 員 長

休憩中に書類審査をしていただきましたが、これに対する質疑はございますか。

(なしの声あり)

委 員 長

それでは、書類審査の質疑を終結いたします。

討論

委 員 長

これより討論に入ります。

討論の順番につきましては、委員会の初日に決定しているとおり、会派清新、会派みどり、新政会、公明党、日本共産党の順となります。

最初に、会派清新、東元委員。

東 元

会派清新を代表いたしまして、第1決算審査特別委員会に付託されました平成27年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で討論いたします。

平成27年度は、滝川市人口ビジョンと滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、さらに滝川市財政健全化計画を推し進める中、前田市長を先頭に、

市理事者、関係職員の皆様のたゆまぬ努力により予算執行に当たられたことに敬意を表します。厳しい財政状況の中、一般会計で歳入216億4,464万円、歳出210億1,200万円、差し引き6億3,264万円の余剰を生じたことは評価に値いたします。

景気回復が全国津々浦々の地域に波及するにはまだまだ不確定な要素があり、市税増収も予断を許さない状況にあります。常に緊張感を持ち、全職員で知恵を出し合い、引き続き無駄のない財政運営をされることを期待いたします。以下、歳入及び歳出について款別に若干の意見、要望を付して討論いたします。歳入、厳しい財政状況の中、前年度より2億円余り多い余剰金を生じたことは評価できます。財政運営の大原則、入るをはかって出るを制すを肝に銘じ、今後も大幅な増収は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けて一層の努力をされることを強く要望いたします。

続いて、歳出、2款総務費、ホームページ更新については、いま一度、迅速かつ正確な対応を要望します。また、サイバーテロなどに対する予防的措置もあわせて推進していただきたい。ICTの積極的な利活用で、医療や教育を初めとしたさまざまな分野での地域の活性化を図られたい。

3款民生費、両親が安心して働けるような学童クラブの運営、内容の充実や待機解消のさらなる継続的措置を希望いたします。障がい者雇用機会がより改善されるよう積極的、継続的な対策を希望いたします。

4款衛生費、ごみの減量化のさらなる推進に努められたい。

6款農林業費、滝川の農業の将来を見据え、新規就農者の確保、育成に魅力ある事業の展開を希望します。特に日本で最も美しい村連合の加盟要件ともなっている果樹生産農家の担い手確保にさらなる工夫、努力をお願いしたい。

7款商工費、昨年10月に正式認証された江部乙地域の日本で最も美しい村連合への加盟後の協議会運営などについて継続的な助言をお願いしたい。ひつじの館の新たな使用者が決定した現在、丸加高原健康の郷のさらなる利用促進に臨んでいただきたい。中心市街地のにぎわいを取り戻すための取り組みをさらに検討されたい。

8款土木費、気候変動による異常気象により、従前は予想もできなかった自然災害が日本全国や道内、管内で発生しており、いつ当市で発生しても不思議ではない。想定外などということのないよう、災害時に市民の命と財産を守るため、迅速な復旧対応を図られる体制を整えられたい。

10款教育費、文化施設の有効活用を促進するとともに企画内容を精査することを希望いたします。

13款職員費、超過勤務手当が減少していることを評価いたします。業務改善や平準化により、さらなる改善に努められたい。

最後に、行政は最大のサービス産業であると私は認識しております。常に市民目線で市民ニーズを的確に捉え、全職員協力して今後も市政運営されることを希望して、会派清新の討論いたします。

次に、会派みどり、山本委員。

会派みどりを代表して、第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号平成27年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で、以下要望、意見を付して討論いたします。

厳しい財政運営が求められる中、滝川市財政健全化計画の着実な実現に向け、

委員 長
山 本

理事者、職員が一丸となり、努力の結果、実質収支で6億3,078万円の剰余金となったことに対して敬意を表します。しかし、市民ニーズに完全に応えた結果なのかを検証しながら、今後も努力することをお願いいたします。

歳入、今後、人口減少が続く中、地方税はもとより交付税の減額も予想され、さらなる収納率の向上、ふるさと納税のさらなる拡大の努力をされたい。

歳出、1款議会費、議会改革が取り組まれる中、議員定数、議員報酬等、多くの課題論議をすべきである。

2款総務費、滝川市総合計画とストックマネジメントの早期の実現に努力されたい。

3款民生費、ますます高齢化が進む中、介護、福祉など市民の要望に応えられる体制づくりに努力願いたい。

4款衛生費、年々増加する医療費抑制のため、健康診断の受診率の向上対策を進めていただきたい。

5款労働費、年々増加傾向にある非正規雇用を減らし、正規雇用の増加を図り、市民所得の向上対策に努められたい。

6款農林業費、T P Pの推進が目前に迫る中、滝川市農業のあり方を早急に論議されたい。また、日本で最も美しい村連合加盟要件であるリング園振興対策のさらなる拡大を願いたい。

7款商工費、3－3地区の再開発とあわせて、中心市街地のさらなる活性化対策をされたい。また、丸加高原伝習館の今後のあり方を早急に示されたい。

8款土木費、市民生活に支障のないよう、さらなる市道管理を求めます。また、老朽化が進む市営住宅の一日でも早い建てかえを進められたい。

9款消防費、近年多発する大雪、大雨などの災害時の市民の財産、生命を守るため、さらなる車両、設備等の増強を求めます。

10款教育費、子供の学力差が将来の生涯所得格差となるため、さらなる学力向上対策を講じていただきたい。

11款公債費、制度上可能な限り有利な利息のものへの借りかえを実施し、公債費の低減に努力していただきたい。

13款職員費、さらなる効率的事務処理を徹底し、市民サービスを低下させない範囲での職員定数の検討を願いたい。

以上申し上げまして、会派みどりの討論といたします。

委員長
井上

次に、新政会、井上委員。

それでは、新政会を代表いたしまして討論をいたします。総括的な討論になりますので、よろしくお願いいたします。

第1決算審査特別委員会に付託されました認定第1号 平成27年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で討論をいたします。

平成27年度は、滝川市総合計画の着実な推進を図りながら、市の発展のために滝川市人口ビジョンと滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するとともに、厳しい財政状況を鑑み、滝川市財政健全化計画を策定する中で事務事業の効率化を図るなどして6億3,000万円余の剰余を生ずる決算を実現したことは、市長を先頭に、理事者、職員の皆さんの努力のたまものであり、敬意と感謝を表します。

滝川市監査委員の平成27年度財政健全化審査意見書によりますと、当年度の決算にかかわる健全化判断比率については、いずれの指標においても健全な数値

を維持されております。このことは今までの努力であり、評価されなければならないと考えているところでございます。

しかし、財政運営は今後も依然として厳しい状況にあると思われます。特に経常収支比率については97.4パーセントと前年より若干改善されたものの、全道でかなりの低い位置に位置しております。悪いほうからいうと、高いほうに位置しているわけでございます。これは、経常一般財源の残余が少なく、財政の硬直化を示す何物でもありません。今後、市税収入は人口の減少とともに減収が見込まれるほか、普通交付税においても人口に比例して減少が見込まれるなど、一段と厳しい財政運営が予測されます。

今後、行政においては、無駄をなくし、市民目線に立ち、縦割りを廃止し、理事者、職員が一丸となって、ふるさと納税の推進など歳入の確保に向けた取り組みが必要と考えます。また、国の動向等、情報収集にアンテナを高く掲げるとともに、滝川市の地域資源、ポテンシャルを最大限生かした取り組みを要望して、新政会を代表しての討論といたします。

委員長
三上

次に、公明党、三上委員。

公明党を代表し、第1決算審査特別委員会に付託されました平成27年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で討論いたします。

平成27年10月に滝川の将来のまちづくりの指針となる滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定され、滝川再生へ向けての歩みを進めたところであります。一方で、地方を活性化するための、国が進める経済財政政策の波及効果はいまだ届いていない状況であります。

このような中で、市長を初めとする理事者、職員の皆様が、我がまちの明るい未来を切り開くのは、みずからの創意工夫と事務事業の改善等を行うとの気概で臨んでいただいたことに敬意を表したいと思います。以下、若干の意見、要望を付して討論といたします。

歳入、依存財源である地方交付税等の縮減が予想される中で、自主財源をいかに確保していくかが喫緊の課題であります。ふるさと納税返礼品の充実や移住定住促進による人口減対策の充実にこれまで以上に努力していただきたいと思ひます。

歳出、総務費、各種計画立案において、自前主義こそがまちを変えるとの信念で、コンサル任せからの脱却に努めていただきたい。

民生費、各種給付事業において、対象者に沿った告知を心がけ、対象者からの申請漏れのないよう努めていただきたい。

衛生費、各種検診事業における受診率の向上に向けて、より一層努めていただきたい。

商工費、被災に備えた企業の工場、物流などの分散化ニーズに対応した企業誘致を試みていただきたい。

土木費、公共工事等で排出される建設残土の有効利用を進めていただきたい。

教育費、老朽化している各種施設の計画的な修繕、改築、改良を進めていただきたい。

以上、公明党を代表しての賛成討論といたします。

委員長
館内

次に、日本共産党、館内委員。

私は、日本共産党を代表し、平成27年度滝川市一般会計歳入歳出決算を可とする立場で討論を行います。

まず初めに、厳しい財政状況の中で、市民の生活を第一に行政執行に当たられた市長、理事者、職員の皆様に敬意を表します。

本決算年度の主な特徴は、教育費では、小中学校の耐震工事について、児童生徒が使用しない西小学校の一部を除き、全て終了したこと。第三小学校校舎の建てかえを完成させ、西小学校の給食共同施設調理場建設を進めました。また、スポーツセンター第1、第2体育館の耐震改修等を進めました。

商工費では、中心市街地栄町3-3地区の再開発を民間主導で行うことに必要な補助金を支出することで、大規模ビルの廃墟化を防ぎ、待望の老人保健施設建設に結びつけました。

農林業費では、農地改良工事を引き続き進めました。

土木費では、駅前広場の整備と中心市街地歩道のバリアフリー化を進めました。

民生費、衛生費では、市民の暮らし、子育て、健康、衛生、障がい者や高齢者、低所得者を守る行政執行に努めました。

これらを執行する上で、就学援助、私立幼稚園就園奨励費補助金、就学前の医療費助成などに、本来国が責任を持つ部分で、ほとんどを市の一般財源で実施しました。また、滝川市総合戦略、財政健全化計画を初めとした計画を策定し、地域経済活性化とまちづくりの方向を定め、市政の安定的継続に努めました。以上のことから、決算を可とするものです。

続いて、若干の意見を述べさせていただきます。2款総務費、ICT利活用の高度化事業について、市内の専門業者によって維持管理が継続されることは、市職員の業務において重要なことです。今後も安定した業務が継続できるようにしていただきたい。

3款民生費、民生委員の活動に要した経費について、民生委員の募集活動は継続して行われておりますが、定数が満たされていない状況が続いています。今後も継続した活動ができるような努力と市民への周知活動を継続していただきたい。

4款衛生費、墓地の運営管理について、今後も利用者に対する窓口業務の向上に努められたい。

5款労働費、中空知地域職業訓練センター協会負担金について、再就職や学びのためにパソコン講座を利用している市民がいると思うが、慢性的に定員が満たないということは、訓練内容を見直す必要があると思われます。今後の運営について、本市としても支援するだけでなく、積極的に改善提言をすべきと考えます。

6款農林業費、担い手育成に要した経費、農業従事者も高齢化が進んでいる中、若手の育成は最も重要な政策分野です。今後も新規農業従事者育成に力を入れていただきたい。

7款商工費、滝川観光ガイドアプリケーション事業について、予算が100パーセント使えるのは悪くはないが、ダウンロード数が1,000に満たず、今のままでは費用対効果が低過ぎると言わざるを得ない。他市においても同じような事業をしておりますので、広域観光も視野に入れて、他市のアプリケーションを紹介するような項目があっても悪くはないと考えます。連携によってダウンロード数も向上し、利用者が観光につながると考えられますので、検討を進められたい。

8款土木費、道路維持補修について、市民にとって近所の舗装された道路が一番身近なものです。継続した維持管理と現在のチェック機能を維持されること

を今後も求めます。

以上、日本共産党の討論といたします。

委員長 以上で討論を終結いたします。

討論要旨につきましては、整理して9月23日までに事務局へ提出してください。

採決

委員長 これより

認定第1号 平成27年度滝川市一般会計歳入歳出決算の認定について

を採決いたします。

本認定を可とすべきものと決することに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

委員長 異議なしと認めます。

よって、認定第1号は可とすべきものと決しました。

お諮りいたします。委員長報告書につきましては、正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委員長 そのように決定させていただきます。

以上で本委員会に付託されました事件の審査は全て終了いたしました。

挨拶

委員長 この場合、市長から発言の申し出がありますので、これを許したいと思います。

市長 それでは、第1決算審査特別委員会が閉会するに当たりまして、お許しをいただきまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。

木下委員長、荒木副委員長初め委員各位におかれましては、本委員会に付託されました認定第1号 平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定につきまして、本日までの3日間、精力的に審査、ご審議賜りまして、ただいま全会一致で可とご認定いただきましたこと、心からお礼申し上げる次第でございます。

本委員会の3日間にわたりまして質疑をいただいた件、または附帯された意見につきまして、それらを十分参考としながら今後の予算執行並びに職務に精励してまいる所存でございますので、今後とも委員各位のご指導をお願い申し上げます、本委員会閉会に当たりましてのご挨拶とします。ありがとうございました。

委員長 以上で3日間の決算委員会を終わりますけれども、職員の皆さんにご丁寧な説明をしていただいて、ふなれな私でしたけれども、何とか終わらせていただきました。本当にありがとうございました。

以上で第1決算審査特別委員会を閉会いたします。

閉 会 11:38